

平成30年度 化学物質の安全管理に関するシンポジウム
「非定常な化学物質リスクの評価・管理の方向性」

日時：平成30年11月20日（火）13:00～17:30（受付開始 12:30）

場所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール

（〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1、東京大学駒場リサーチキャンパス内 An 棟2階）

参加費：無料

主催：化学物質の安全管理に関するシンポジウム実行委員会

共催：内閣府、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、独立行政法人労働者健康安全機構、独立行政法人製品評価技術基盤機構、国立研究開発法人土木研究所、国立研究開発法人国立環境研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所

協賛：国立医薬品食品衛生研究所

プログラム

時間	発表タイトル
13:00～13:05	開会挨拶 化学物質の安全管理に関するシンポジウム実行委員会 委員長 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 環境暴露モデリンググループ 研究グループ長 梶原 秀夫
13:05～13:45	基調講演 化学物質リスク評価管理問題の多元性 ～平常時と非平常時、フローとストックを中心軸にして～ 国立大学法人大阪大学大学院工学研究科 教授 東海 明宏
13:45～14:15	毒性学からみた「非定常」事例の考察 独立行政法人労働者健康安全機構 日本バイオアッセイ研究センター 所長 菅野 純
14:15～14:45	下水処理水消毒副生成物の水環境中での挙動 国立研究開発法人土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員 小川 文章
14:45～15:15	水田農薬の河川水中濃度の時空間変動予測と影響評価 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 主任研究員 今泉 圭隆
15:15～15:40	(休憩)
15:40～16:10	事故・災害起因の化学物質漏洩によるリスク評価 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 排出暴露解析グループ 研究グループ長 恒見 清孝
16:10～16:40	化学物質管理における緊急時対応へのリスクコミュニケーションの活用 独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター 調査官 竹田 宜人
16:40～17:00	全体質疑
17:00～17:20	各省からのコメント 厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省
17:20～17:25	閉会挨拶 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 所長 藤澤 久
17:25～17:30	事務連絡 内閣府